



R7 牧山小だより

思いやりの心をもち、自ら学び自ら考え、心身ともに元気に仲良く活動できる牧山っ子を目指して！！



北九州市立牧山小学校
文責 校長 近藤幸子



明日から冬休み



10月16日から始まった後期前半は、運動会、5年生の自然教室や6年生の修学旅行、各学年の校外学習（秋見つけ、まちの探検、図書館の見学、こころの劇場、ワールドスケートボード大会見学）や体験学習（消防士さんといっしょ、園児との交流会、考えるスマートフォン教室）など、様々な取組が行われました。「ひと」「こと」「もの」との交流を通して、多様なものの見方や考え方各学年なりに培われ、新しい学びを得ることができました。子ども達の成長する姿を目の当たりにでき、大変うれしく思います。

そして、充実した後期前半も今日で終わり、明日から15日間の冬休みが始まります。

クリスマスや年末年始が控えていて、街にもぎやかな雰囲気になっていきます。各ご家庭では、冬休みの宿題、家の手伝い、自分の新年の目標決めなど、子どもと一緒に話をしながら取り組んでいただけたらと思います。

今年も、温かい目で子ども達を応援していただいている保護者の皆様をはじめ、地域の方々のご協力のおかげで、子ども達は大きな事故、事件に巻き込まれることなく、無事に過ごすことができました。本当にありがとうございました。

12/15(月) 考えるスマートフォン教室 5・6年生

冬休みを前に、5・6年生を対象とした規範教育「考えるスマートフォン教室」を実施しました。

講師の方から具体的なネットトラブル事案について説明があり、個人情報を絶対にSNS等に載せてはいけないことや、ネットの長時間利用によって、自分の大切な時間が失われていることなど、自分を守るためのお話がありました。

子ども達は真剣な表情で説明を聞いていました。



左のポスターは、9月に高中生中校区ミーティングで決めた「ネットトラブル防止に関するルール」です。各教室に掲示して、学校でも子ども達に注意喚起しています。

学校評価アンケート

ご協力ありがとうございました

12月1日から12日まで行った学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様の牧山小学校に対する思いをうかがうことができました。

この結果を真摯に受け止め、今後の学校運営に努めてまいります。

集計した結果は、後日、児童・教職員のアンケート結果と合わせて、本校HPでお知らせします。

後期後半のスタートは1月8日(木)です

1. 自分の命は自分で守りましょう：交通事故に注意！ SNSの利用はルールを守って！
2. 生活リズムを崩さないようにしましょう：

早寝・早起きを心がけ、夜遅くまで携帯電話やスマートフォン、タブレット等を使うことがないように！ 冬休みの宿題も忘れずに！



冬休みに入ると、ケータイやスマホ、PCやゲーム機などを使ってインターネットを利用する時間が増えます。情報を上手に活用すれば便利で楽しいものですが、使い方を誤るとトラブルに巻き込まれたり、危険な目に遭ったりすることもあります。他国では16歳未満のSNS利用を制限する法律が施行されました。

いじめ・誹謗中傷・個人情報漏洩・詐欺・課金トラブル・薬物などの危険から子ども達を守るためにも、ご家庭でケータイやスマホ、インターネットの使い方などのルールを、今一度確認していただきたいと思います。

[子どもとネット・ワンポイントコラム]

スマホなしでもインターネット

携帯音楽プレーヤーや保護者の機種変更などで契約が切れたスマートフォンで簡単にインターネットが利用できることは、案外、知られていないようです。

家庭内や公共施設、コンビニエンスストアなどの無線LAN（Wi-fi／ワイファイ）に接続すれば、「ほぼ、スマートフォン」としての利用が可能になります。

子どもの情報機器の利用については、インターネットにつながっていないか等、確実に把握して安全に利用しているかどうか確認しておきましょう。



[子どもとネット・ワンポイントコラム]

インターネットの特性

インターネットの利用は上手にできても、「書き込みや写真は、世界中の利用者に見られるかもしれない」「手元の機器上では取り消しても、相手のところにコピーが残ってしまう」「一度広まったものは消せない」というインターネットの特性を知らない子どもはたくさんいます。



インターネットへの投稿は「個人情報の流出」などの危険性があること、またそれに伴って「家族への予想外の被害」にも及ぶ可能性があることを理解させましょう。

[子どもとネット・ワンポイントコラム]

ネットで秘密を守るのは難しい

子どもの多くは、ネットへの書き込みを大人に見られることを嫌い、親しい友人だけが見られるように設定したアプリを使います。

中には、そこへの書き込みや写真の投稿なら、秘密が守られると誤解をしている子どももいるようです。実際には、一対一のやりとりであっても、スクリーン



ショット経由などで流出する可能性があります。ネットで秘密を守るのは難しいということを理解させましょう。

*スクリーンショット
スマートフォンの画面を撮影した画像のこと。メールやラインのやりとりを撮影して、容易に保存、送信ができる。

[子どもとネット・ワンポイントコラム]

SNSで気を付けたいこと

お互いの顔が見えない、ネットを経由したコミュニケーションでは、対面の時よりも言い過ぎることが増えます。友達同士のグループ利用においては、小さなきっかけから特定個人の攻撃などが起きることが考えられます。



ネットでのコミュニケーションは必要最小限度とし、できるだけお互いに顔を合わせてコミュニケーションをとることの大切さを教えてていきましょう。

[子どもとネット・ワンポイントコラム]

気持ちがうまく伝わらない

数々の苦い経験を持つ大人にとっては当たり前でも、子どもが案外知らないことの一つに、SNSは「連絡には便利でも、気持ちは伝わりにくい」という点があります。

どちらかが悪いなどの原因がなくとも、表情や声の様子などお互いの気持ちを判断する「手がかり」がないため誤解が生じ、トラブルにつながることもあります。自分の気持ちを上手く伝えるためには、



相手の気持ちを考えながら直接話をすることが大切であること教えましょう。

[子どもとネット・ワンポイントコラム]

ネットのことは子どもにかなわない？

インターネットにつながる機器が増え、子どもたちのインターネット利用年齢は早まる一方です。そのためネットの利用について不安を感じる保護者は少なくありません。

でも、ネットの安全利用の基礎は、ごくごく当たり前の「社会のルール」や「人間関係」について理解し、行動することです。いずれも大人の方が優れていることです。



ネットだから特別だということはありません。インターネットの利用を含め、日常生活の中で、「ダメなことはダメ」と自信をもって声をかけましょう。

もちろん、きちんとできたときにはやさしく褒めることが大切です。